

令和5年度事業報告

1. 概要

我が国における超高齢社会の急速な進行や地域における人手不足、あるいは人生100年時代を見据えて国が進める高年齢者就業施設の方向性を踏まえながら、働く意欲のある高年齢者がその能力を十分に発揮し、年齢に関わりなく活躍できる場の提供が社会的に益々重要となっています。

こうした中、シルバー人材センターは、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高年齢の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っており、引き続き地域の特色や実情を踏まえて積極的な取組を展開する必要があります。

また、地域社会の課題解決の担い手として、行政の施策と連携しながら福祉・家事援助サービス事業、空き家管理対策事業、放課後児童クラブ事業等を推進し、次世代の生活や人手不足に苦慮する企業等を下支えする役割を果たしていくとともに、市の広報やチラシ等による周知・PR活動を通じてシルバー事業の社会的役割の重要性を広く周知し、就業機会の開拓と会員拡大が重要だと考えられました。

このようなことを踏まえて令和5年度事業計画の基本方針に基づきまして、次のように事業に取り組みました。

2. 事業実施報告

① 基本理念の周知徹底及び実行

会員及び役職員が「自主、自立、共働、共助」の基本理念を常に認識していただき、総会、ボランティア活動等への積極的な参加の呼びかけをしました。

② 安全・適正就業の徹底

安全・適正就業の徹底については、シルバー事業の最優先課題と位置づけ、安全・適正就業委員による、就業現場のパトロールを令和5年度は1回実施し、会員の安全意識の向上にも繋がりました。

③ サポート事業並びに派遣事業の推進

(1) 高齢者活用・現役世代サポート事業では、全戸配布している広報誌「シルバーたるみず」が定着しているようです。

(2) 労働者派遣事業の推進について、事業所のニーズの把握に努め、事業導入に努めました。又請負業務から派遣業務への見直し、派遣業務の適正化に努めました。

④ 保育・福祉・家事援助サービス事業の推進

(1) 子育て支援事業、児童クラブの質の向上と充実を進め、会員の方々も積極的に講習や研修会等に参加して頂き、資格の取得に努めて頂きました。

(2) 地域サービス事業では、高齢者が高齢者を支える観点から重要な事業であります。引き続き行政と連携して、情報の収集や相談を行ってまいります。

⑤ シルバー会員のデジタル利用促進事業

シルバー人材センターのデジタル化を進めるにあたって、スマホ教室を開催しました。

⑥ 垂水あぐりファーム事業

平成29年度より新規事業として遊休地を活用し、あぐり事業を展開し会員の就業機会の拡大を図ってまいりました。トウモロコシ、赤しそ、馬鈴薯、サツマイモ等の作付けを行い、会員各位はもちろん地域住民にも購入していただきました。又児童クラブの児童にも収穫体験を実施し、児童・保護者にも大変喜ばれました。

今後も、国、県、市、連合会等の関係機関と連携を図り、活力ある地域社会づくりに貢献し、地域から信頼されるシルバー人材センターづくりを目指し、事業運営を推進してまいります。

令和5年度の事業実績の主なものは次のとおりでございます。

	令和5年度	令和4年度	前年度比
会 員 数	178人	174人	4人増
就業実人数	103人 (*159人)	113人 (*152人)	10人減 (年度内に1回以上就業)
就業延人数	13,492人日 (*22,824人日)	14,166人日 (*21,438人日)	674人減
就 業 率	57.9% (*89.3%)	64.9% (*87.4%)	7%減
契約件数	1,415件 (*1,687件)	1,475件 (*1,519件)	60件減
契約金額	48,452,265円	59,799,198円	11,346,933円減
派遣契約金額	57,173,126円	40,787,816円	16,385,310円増
シルバー事業 派遣事業 合 計	105,625,391円	100,587,014円	5,038,377円増

(*派遣就業会員を合算した数)